NEWS RELEASE

2023 年 7 月 24 日
オタフクソース株式会社

台北で「広島お好み焼」を焼きまくります！
2023台湾美食展に出展
～オタフク台北支店 夏のプロモーションを強化～

オタフクソース株式会社（本社：広島市西区、代表取締役社長：佐々木孝富）では、台湾でお好み焼をもっと知っていただけるように、2023 年 6～8 月、さまざまなプロモーションを行っています。8 月 4～7 日には『2023 台湾美食展』の日本美食館ブースに鉄板を持ち込んで出展し、広島お好み焼の販売も行います。

〔台北支店 プロモーション活動概要〕

① レストランフェアー（6 月中旬～7 月中旬）

台湾国際若手シェフ協会*に当社商品を使用したオリジナルレシピを作成いただき、7 店舗にてレストランフェアーを開催。「お好みソース」「お好み焼粉」「いか天入り天かす天華」を使用し、お好み焼やお好み焼風料理を各店舗で販売していただきました。

＊20 歳～40 歳未満のシェフ約 500 名の会員で構成される非営利団体

◀メニューポスター。オタフクの調味料が台湾のシェフの味に

② オンライン広告（6 月初旬～7 月下旬）

台湾で若い女性を中心に人気のオンラインメディア「POPDAILY」に出稿。連同企画としてインフルエンサー15 名に、当社商品を使用した料理をつくって投稿していただきました。お好み焼だけでなく、「万能酢」を使用したにぎり寿し、「焼そばソース」で味をつけた鶏肉入りのお弁当など、手作りで楽しむ食卓の様子が発信されました。

③ ラッピング広告バス（6 月中旬～7 月中旬）

利用客も多く、最もポピュラーな公共交通機関であるバスに、ラッピング広告を実施。シズル感のあるお好み焼とたこ焼、オタフク商品の画像をあしらったデザインが、1 カ月間、台北の街を走り抜けました。

◀台北駅前を通り過ぎるオタフク号

④ 台湾と日本の鉄板粉ものメニュー、親子体験教室を実施（7 月 16 日）

台湾の「蛋餅(だんぴん)」と日本の「お好み焼」は、それぞれを代表する鉄板粉ものメニュー。台中市の親子 8 組様に参加いただき、ホットプレートでつくって食べる、楽しい教室を開催しました。

リーフレットでは「ごちそうさまでした／謝謝招待，我吃飽了」など、食事の際に使う日本語も紹介▶

⑤ 『2023 台湾美食展』への出展

「台湾と世界の食の祭典」として、30 年以上の歴史があるアジアでも最大級の食イベントです。お好み焼を知っていただく絶好の機会と捉え、社員が「広島お好み焼」を焼いて販売します。

開催日時：8 月 4 日(金)～8 月 7 日(月) 10～18 時
開催場所：世界貿易中心一号館 ◎出展は 300 ブース、来場者数 14 万人を見込まれています

※本件は、大阪商工記者会、広島経済記者クラブに同様の資料を配布させていただいております。

オタフクホールディングス株式会社 広報部 鍵村
〒733-8670 広島市西区商工センター7 丁目 4-27
TEL：082-553-9961 MAIL：ota-pr@otafuku.co.jp

小さな幸せを、地球の幸せに。

＜参考資料＞

■台湾へ向けたオタフクの取り組み

当社は 1900 年代後半から海外展開を始めましたが、なかでも台湾はニーズがあり、早い時期から商品を取り扱っていただいています。

1997 年	国際事業部を新設。輸出業務に注力
2000 年代	日系量販店やコンビニエンスストア、レストランチェーンの台湾進出に伴い、家庭用商品の販売のみならず、お好み焼をはじめとする日本食の調味料として当社商品を使用していただけるようになった
2008 年	国際事業部に台湾市場担当者をおく
2017 年	台北市内で「お好み焼提案会」を実施。台湾でお好み焼店を営まれる方を招き、お好み焼を中心とする鉄板粉ものメニューやサイドメニューなどをご提案した
2018 年	オタフクソース初の海外支店となる「台北支店」を開設し、自社商品の輸入販売を開始

現在、台北支店の売上高は、支店開設時比約 2 倍。家庭用と業務用の比率は 3：7。主力商品は家庭用が「お好みソース」「万能酢」、業務用商品は「お好みソース」「焼そばソース」。そのほか、台湾企業からのオーダーメード商品もあり、すべて日本の工場で生産した商品を輸入しています。

■台湾におけるお好み焼

台湾には親日の方が多く、日本への関心も高いと言われています。観光で日本を訪れる方も多く、当社が本社を置く広島県では 2023 年 1 月に広島～台北便の運航が再開されました。

また、レストランや夜市など外食産業も盛んで、食を楽しむ文化の豊かさも台湾の魅力の一つです。現在、台湾にはお好み焼専門店が約 35 軒あります。（当社調べ）お好み焼は若年層を中心に人気で、おしゃれな日本食というイメージがあり、「大阪焼」「廣島焼」とそれぞれ表現されるほど知られた食べ物になっています。

先般行われた G7 広島サミットをきっかけに、広島お好み焼が注目されました。現在、台湾では「大阪焼」のほうが一般的ですが、SNS を含むメディアを通じて広く知っていただいたと期待し、このたびの「2023 台湾美食展」では、広島から 2 名の社員も応援に駆けつけ、広島お好み焼の美味しさをお伝えしようと考えています。

▲台湾美食展には 2022 年に初出展。今回で 2 回目となる

■台湾に根づいた営業活動をこれからも

百貨店や量販店でのお好み焼の試食販売や、お好み焼教室などを通じたご家庭の食卓へのご提案。飲食店や総菜製造などプロの方へのご提案など、台湾での営業活動は 15 年が過ぎました。

お好み焼の材料はすべて台湾で簡単に手に入れることができ、野菜をたっぷりとれる栄養バランスも魅力。食を楽しむ台湾の方のライフスタイルにも、おすすめのメニューです。

これからも、台北支店ではお好み焼を中心に、台湾の皆様に楽しんでいただける食のご提案を続けてまいります。

otafuku
小さな幸せを、地球の幸せに。